

第111期報告書



65年の歴史に幕を下ろす「新潟駅万代口バスターミナル」
行先表示「新潟駅万代口スイッチバック式バスターミナル65年間ありがとう2024.3.30新潟交通」

株主の皆様へ

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み景気は緩やかな回復傾向が見られたものの、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化による地政学リスクに加え、資源価格や原材料価格の高騰による物価上昇や円安の影響等、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

こうした事業環境の中、当社グループは全社を挙げて営業活動を積極的に展開し、事業基盤の強化に努めてまいりました。

当連結会計年度の売上高は19,417百万円（前期比11.2%増）、営業利益は1,682百万円（前期比22.5%増）、経常利益は1,315百万円（前期比35.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,064百万円（前期比18.6%増）となりました。

新潟交通株式会社
代表取締役社長 星野佳人

セグメント別業績概況

(運輸事業)

一般乗合バス部門では、キッズ向け特設 WEB サイト「りゅーとランド」の開設、4年振りとなる「万代シティバスまつり2023」を開催したほか、今年度初開催した「こどもデザインラッピングバスコンテスト」にてグランプリ賞等に選ばれた3作品をラッピング車両として運行したほか、「こども運転席」を設置して運行するバスが、多くのマスコミやSNSに取り上げられ話題となる等、バスへの関心を高める取組みを行い利用促進に努めました。加えて、事業収支改善を図るために令和5年9月に実施した運賃改定の効果もあり、一般乗合バス部門全体では、前期比増収となりました。また、令和6年3月31日の新潟駅の高架化によるバスターミナルの開業に伴い、駅の南北を結ぶ新路線の開設や改善基準告示の改正に対応すべくダイヤ改正を実施しました。高速バス部門では、東京線や仙台線を中心とした都市間高速バスの利用者が増加したこと等により、前期比増収となりました。貸切バス部門では、大学スクールバス、各種大会、修学旅行を主とした学校関連の貸切バス受注に加え、バスツアーの稼働が伸長したことにより前期比増収となりました。この結果、運輸事業の売上高は8,037百万円（前期比7.2%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業では、令和5年11月に生誕50周年を迎えた「万代シティ」において、記念ガラポン、万代ホコテン等の周年イベントや新規導入したデジタルマップを活用したクーポン施策等の各種販売促進キャンペーンを開催したほか、週末を中心に大型催事・イベントを開催し、街区の賑わい創出に努めました。加えて、当社が運営管理するバスセンタービルやビルボードプレイスにおいて県内初出店となる店舗を中心に誘致して街区の新しい魅力づくりを努めました。また、令和5年7月に30周年を迎えた佐渡島内の商業施設「佐渡セントラルタウン」のショッピングセンター棟の大規模リニューアルを行い、ご利用者様の利便性向上、周辺地域の活性化に努めました。この結果、不動産事業の売上高は2,873百万円（前期比0.7%増）となりました。

(商品販売事業)

観光土産品卸売部門では、観光需要の回復に加え大規模イベントや催事の開催等による交流人口増加により、県内観光地での土産卸販売が堅調に推移しました。また、リニューアルした新潟駅ビルに直営店の「越後雪室屋 STATION Labo」を令和6年3月27日にオープンしました。この結果、商品販売事業の売上高は2,317百万円（前期比20.4%増）となりました。

(旅行事業)

旅行事業では、募集型企画旅行においては、前年度の全国旅行支援効果からの反動減が一部ツアーに影響を与えましたが、日帰りバスツアー、チャーター便を利用した国内や海外ツアーを中心に利用客数を伸ばしました。また、受注型企画旅行においては、修学旅行や各種大会の遠征等の教育旅行の受注増加に加えて、コロナ禍で差し控えられていた企業や行政関係等の手配旅行の受注が増加しました。この結果、旅行事業の売上高は2,716百万円（前期比35.7%増）となりました。

(旅館事業)

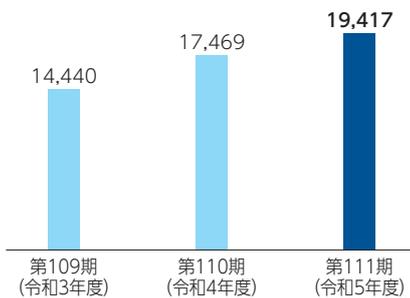
旅館事業では、新潟市内の「万代シルバーホテル」、佐渡市内の「国際佐渡観光ホテル八幡館」において、催事団体客、募集ツアー、インパウンドの受入等により宿泊客数が増加したことに加えて、「万代シルバーホテル」においてコロナ禍で差し控えられていた同窓会や企業の懇親会等の宴会を受注する等、利用組数が増加しました。この結果、旅館事業の売上高は1,628百万円（前期比27.4%増）となりました。

(その他事業)

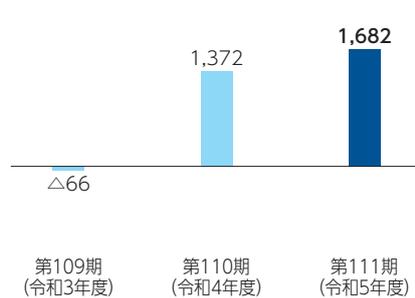
広告代理業においては、デジタルサイネージ「万六ヴィジョン」等の自社広告媒体による広告収入は堅調に推移しましたが、前年度受注した新潟市が発行する「地域のお店応援商品券」事業の剥落もあり、前期比減収となりました。航空代理業においては、国際線の運航再開等による空港業務受託手数料が増加したことにより、前期比増収となりました。清掃・設備・環境業においては、設備部門で大口スポット案件の受注が堅調に推移しましたが、清掃部門での定期物件の中止、消毒等のスポット案件受注減や環境部門でのスポット案件の機会損失、古紙、金属くず等のリサイクル品販売価格が低下したこと等により、前期比減収となりました。この結果、その他事業全体の売上高は1,844百万円（前期比3.7%減）となりました。

連結財務ハイライト

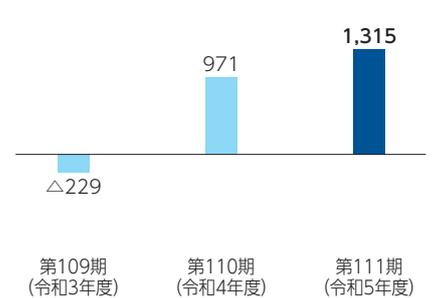
■ 売上高 (単位:百万円)



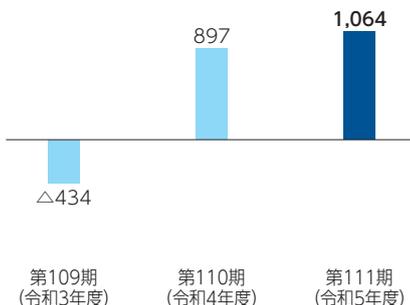
■ 営業利益又は損失 (△) (単位:百万円)



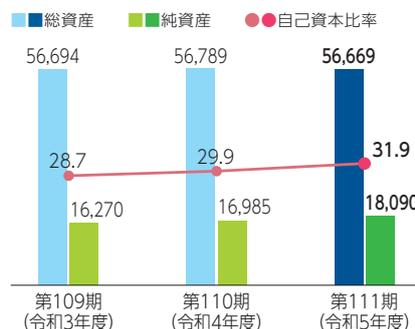
■ 経常利益又は損失 (△) (単位:百万円)



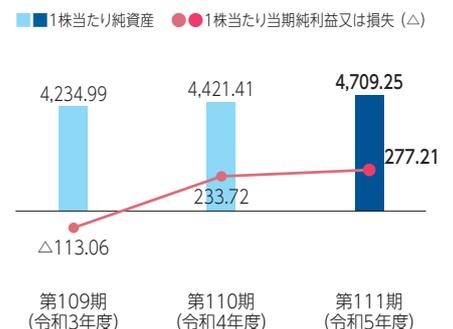
■ 親会社株主に帰属する当期純利益又は損失 (△) (単位:百万円)



■ 総資産/純資産/自己資本比率 (単位:百万円、%)



■ 1株当たり純資産/1株当たり当期純利益又は損失 (△) (単位:円)



トピックス

令和5年

4月

4月 新潟空港と新潟駅を繋ぐEVバスが運行開始



5月

6月

6月 KIDSおしごと体験 FCバス (小型燃料電池バス)



7月 「万代ホコテン～Re:にじのまち～」



7月

4月 たのしくバスを学べる「りゅーとランド」開設



8月

9月

9月 万代シティバスまつり2023



10月

10月 「こどもデザインラッピングバス」走行 同バスに「こども運転席」新設
10月から約1年間にわたり新潟市内のバス路線を走行



11月

12月

11月 万代シティ50周年

万代シティのスポット情報を集約したデジタルマップの導入
記念ガラポン等、周年イベントを開催!



令和6年

1月

2月

3月

3月 新潟駅バスターミナル開業

南北を結ぶ駅下のバスターミナルとなり、
鉄道⇄バスの乗換えがスムーズに



会社概要・株式の状況

■ 会社概要 (令和6年3月31日現在)

会社名	新潟交通株式会社
本社	新潟市中央区万代一丁目6番1号
設立	1943 (昭和18) 年12月
資本金	42億2,080万円
代表者	代表取締役 星野佳人
従業員数	581名
事業内容	旅客運送事業・一般旅行業・航空代理業・不動産業・ 駐車場経営・生活関連用品の販売など
事業所	入船営業所、新潟南部営業所、新潟東部営業所、 新潟北部営業所、新潟西部営業所、内野営業所、 くれよん万代

■ 株式の状況 (令和6年3月31日現在)

発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	3,864,000株 (うち、自己株式22,469株)
株主数	2,627名

大株主の状況

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
株式会社第四北越銀行	1,749	4.55
株式会社ブリヂストン	1,638	4.27
いすゞ自動車株式会社	1,550	4.03
太平興業株式会社	1,332	3.47
損害保険ジャパン株式会社	1,220	3.18
株式会社みずほ銀行	1,050	2.73
三菱ふそうトラック・バス株式会社	1,035	2.69
三井住友海上火災保険株式会社	1,001	2.61
清水建設株式会社	1,000	2.60
新潟いすゞ自動車株式会社	767	2.00

(注) 持株比率は自己株式(224百株)を控除して計算しております。

■ 株式所有者別分布図



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要がある場合には、予め公告をして基準日を定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付/電話 お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告といたします。 (当社ホームページ掲載 https://www.niigata-kotsu.co.jp/ir) ただし、電子公告によることができない事故、その他止むを得ない事由が生じた場合は、新潟日報に掲載をいたします。 ※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書は、EDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	9017

【株式事務に関するご案内】

● 証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、 配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

● 特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
お手続き お問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、 配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続を行う必要があります。

● 証明書の発行等、その他の株式に関する手続きは当社株主名簿管理人(みずほ信託銀行)が承ります。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル) ※ 本郵送先は事務センターにつき、ご来店による受付はできませんのでご了承ください。
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店